

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11) 特許出願公開番号

特開2017-66648

(P2017-66648A)

(43) 公開日 平成29年4月6日(2017.4.6)

(51) Int.Cl.
E04H 1/02 (2006.01)F 1
E04H 1/02テーマコード (参考)
2E025

審査請求 未請求 請求項の数 3 O L (全 8 頁)

(21) 出願番号 特願2015-190952 (P2015-190952)
(22) 出願日 平成27年9月29日 (2015.9.29)(71) 出願人 000183428
住友林業株式会社
東京都千代田区大手町一丁目3番2号
(74) 代理人 100064908
弁理士 志賀 正武
(74) 代理人 100108578
弁理士 高橋 詔男
(74) 代理人 100094400
弁理士 鈴木 三義
(72) 発明者 川元 邦親
東京都八王子市南大沢4-30-8 有限
会社川元住環研究所内
Fターム(参考) 2E025 AA01 AA26

(54) 【発明の名称】 住宅

(57) 【要約】

【課題】建築物の庭に面した部分のプライバシーを確保しつつ、庭を利用して近隣とのコミュニケーションがとりやすい住宅を提供する。

【解決手段】住宅100は、建築物1が庭30に沿って配置された住宅であって、建築物1は、外部と庭30との間に配置された風除室3と、外部と風除室3との間に開閉可能に設けられた外側建具3Aと、風除室3と庭30との間に開閉可能に設けられた内側建具S1と、風除室3に隣接する玄関4と、風除室3と玄関4との間に開閉可能に設けられて玄関建具4Aと、を備えることを特徴とする。

【選択図】 図1

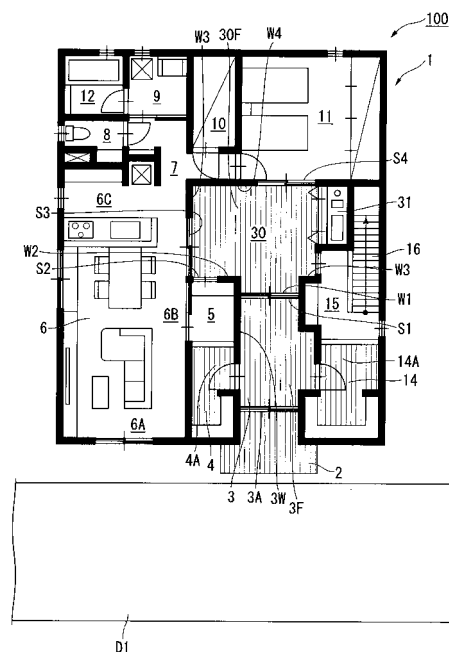


図1

【特許請求の範囲】**【請求項 1】**

建築物が庭に沿って配置された住宅であって、
前記建築物は、
外部と前記庭との間に配置された風除室と、
前記外部と前記風除室との間に開閉可能に設けられた外側建具と、
前記風除室と前記庭との間に開閉可能に設けられた内側建具と、
前記風除室に隣接する玄関と、
前記風除室と前記玄関との間に開閉可能に設けられて玄関建具と、を備えることを特徴とする住宅。

10

【請求項 2】

前記建築物は、前記庭の三方を囲むように配置されていることを特徴とする請求項 1 に記載の住宅。

【請求項 3】

前記建築物は、前記庭の四方を囲むように配置されていることを特徴とする請求項 1 に記載の住宅。

【発明の詳細な説明】**【技術分野】****【0001】**

本発明は、住宅に関するものである。

20

【背景技術】**【0002】**

一般に、住宅では、道路に面して庭を設けることで、庭で近隣住民とコミュニケーションをとることができる。しかしながら、密集地等では、道路に面して庭を設けることが難しく、庭の一部または全部を覆い隠すように建物が配置された住宅が採用されている。

【0003】

例えば、庭を囲むように平面視コ字状に建物を建築して、庭の道路側に建物が配置された住宅が提案されている（下記特許文献 1 参照）。

【0004】

また、庭を囲むように平面視口字状に建物を建築して、庭の周囲を建物で囲んだ住宅が提案されている（下記特許文献 2 参照）。

30

【先行技術文献】**【特許文献】****【0005】**

【特許文献 1】特開平 11 - 50678 号公報

【特許文献 2】特開 2000 - 230323 号公報

【発明の概要】**【発明が解決しようとする課題】****【0006】**

しかしながら、上記の特許文献 1 に記載のように、庭の道路側に建物が配置されているため、庭に沿って設けられて通路の幅が狭い場合には、外部から庭に直接アクセスすることが困難であり、庭にアクセスする際には道路側の建物を經由する等しなくてはならない。このため、庭で近隣住民とコミュニケーションをとろうとする際には、住人のプライバシーが確保されにくいという問題点がある。

40

また、上記の特許文献 2 に記載のように、庭の周囲を建物で囲んだような密閉型の住宅においても、屋外空間である庭から外部に直接アクセスできないため、屋外空間である庭を利用して近隣とのコミュニケーションがとりづらいという問題点がある。

【0007】

そこで、本発明は、上記事情に鑑みてなされたものであり、住人のプライバシーを確保しつつ、庭で近隣とのコミュニケーションをとりやすい住宅を提供する。

50

【課題を解決するための手段】**【0008】**

上記目的を達成するために、本発明は以下の手段を採用している。

すなわち、本発明に係る住宅は、建築物が庭に沿って配置された住宅であって、前記建築物は、外部と前記庭との間に配置された風除室と、前記外部と前記風除室との間に開閉可能に設けられた外側建具と、前記風除室と前記庭との間に開閉可能に設けられた内側建具と、前記風除室に隣接する玄関と、前記風除室と前記玄関との間に開閉可能に設けられて玄関建具と、を備えることを特徴とする。

【0009】

このように構成された住宅では、外部と庭との間に風除室が配置され、風除室には玄関が隣接し、風除室と玄関の間には玄関建具が設けられている。これにより、玄関から建築物の内部を、プライベートスペースとして利用することができる。また、外部と風除室の間には外側建具が設けられ、風除室と庭の間には内側建具が設けられている。よって、外部から庭にアクセスする際には、外側建具を開けて、風除室を通過し、内側建具を開けてアクセスでき、庭で近隣とコミュニケーションをとることができる。また、プライベートスペースを通過せずに庭にアクセスできるため、庭を近隣とのコミュニケーションの場として利用する際に、住人のプライバシーを確保することができる。

10

【0010】

また、本発明に係る住宅では、前記建築物は、前記庭の三方を囲むように配置されていることが好ましい。

20

【0011】

このように構成された住宅では、建築物は庭の三方を囲むように配置されていて、外部から建築物の庭に面した部分が見えにくいため、建築物の庭に面した部分のプライバシーを一層高めることができる。

【0012】

また、本発明に係る住宅では、前記建築物は、前記庭の四方を囲むように配置されていてもよい。

【0013】

このように構成された住宅では、建築物は庭の四方を囲むように配置されていて、庭には外部と直接面する部分がないため、建築物の庭に面した部分のプライバシーを一層高めることができる。

30

【発明の効果】**【0014】**

本発明に係る住宅によれば、建築物の庭に面した部分のプライバシーを確保しつつ、庭を利用して近隣とのコミュニケーションがとりやすい。

【図面の簡単な説明】**【0015】**

【図1】本発明の第一実施形態に係る住宅の一階平面図である。

【図2】本発明の第一実施形態に係る住宅の二階平面図である。

【図3】本発明の第二実施形態に係る住宅の一階平面図である。

40

【図4】本発明の第二実施形態に係る住宅の二階平面図である。

【発明を実施するための形態】**【0016】**

(第一実施形態)

本発明の第一実施形態に係る住宅について説明する。

図1は、本発明の第一実施形態に係る住宅の一階平面図である。図2は、本発明の第一実施形態に係る住宅の二階平面図である。

図1及び図2において、太線で示されている箇所は壁を示し、この太線間の細線で示されている箇所には窓や建具が設けられていることを示している。

【0017】

50

図 1 に示すように、住宅 100 は、道路 D1 に面して建築されている。住宅 100 において、道路 D1 側と異なる三方には、図示しない近隣住宅が設けられている。住宅 100 の一階では、建物（建築物）1 の外部には設けられたポーチ 2 が設けられ、ポーチ 2 に面して風除室 3 が設けられている。ポーチ 2 と風除室 3 との間には、開閉可能な屋外用の引違戸（外側建具）3A が設けられている。引違戸 3A には、外部からの通風が可能な開口（不図示）が設けられている。

【0018】

風除室 3 では、床 3F は土足用の床材で施され、壁 3W 及び天井（不図示）は室内用の仕上げ材で施されている。

【0019】

建物 1 には、風除室 3 に面して、建物 1 の一方側及び一方側に対向する他方側（図 1 に示す紙面左側及び右側）には、それぞれ玄関 4、14 が設けられている。住宅 100 は、玄関 4 から入って建物 1 の主に一階部分を利用する世帯と、玄関 14 から入って建物 1 の主に二階部分を利用する世帯とが生活することができる二世帯住宅である。

【0020】

風除室 3 と各玄関 4、14 との間には、開閉可能な玄関ドア（玄関建具）4A、14A が設けられている。玄関ドア 4A、14A は、屋内用のドアである。また、玄関ドア 4A、14A は、玄関 4、14 側に開く内開きまたは引き戸で構成されていることが好ましい。

【0021】

一方の世帯用の建物部分では、玄関 4 に面して、玄関ホール 5 が設けられている。また、玄関ホール 5 に面して、リビング 6A、ダイニング 6B 及びキッチン 6C が並んだ L・D・K 6 が設けられている。キッチン 6C の奥側（ダイニング 6B と反対側）には、廊下 7 が設けられている。廊下 7 に面して、トイレ 8、洗面室 9、納戸 10 及び寝室 11 が設けられている。洗面室 9 に隣接して、浴室 12 が設けられている。

【0022】

他方の世帯用の建物部分では、玄関 14 に面して、玄関ホール 15 が設けられている。また、玄関ホール 15 に面して、階段 16 が設けられている。

【0023】

図 2 に示すように、二階では、階段 16 の降り口に面してホール 17 が設けられている。ホール 17 に面して、主寝室 18、洋室 19、洋室 20 及びリビング 21A、ダイニング 21B 及びキッチン 21C が並んだ L・D・K 21 が設けられている。キッチン 21C の奥側（ダイニング 21B と反対側）には、廊下 22 が設けられている。廊下 22 に面して、トイレ 23、洗面室 24 及び納戸 25 が設けられている。洗面室 24 に隣接して、浴室 26 が設けられている。主寝室 18 には、廊下 22 から出入りできるようになっている。

【0024】

この住宅 100 において、一階では、風除室 3、玄関ホール 5、L・D・K 6、廊下 7、寝室 11 及び玄関ホール 15 に囲まれるようにして、庭 30 が設けられている。また、二階では、庭 30 の上方の空間が吹抜け 31 とされている。つまり、建物 1 は庭 30 の四方を囲むように平面視口の字状に配置されている。庭 30 は、床 30F がウッドデッキで仕上げられており、キッチン 31 が設置されている。

【0025】

風除室 3 と庭 30 との間の壁 W1 には、開閉可能且つ人の出入りが可能なサッシ（内側建具）S1 が設けられている。また、玄関ホール 5 と庭 30 との間の壁 W2 には、サッシ S2 が設けられている。また、L・D・K 6 と庭 30 との間の壁 W3 には、サッシ S3 が設けられている。また、寝室 11 と庭 30 との間の壁 W4 には、サッシ S4 が設けられている。これにより、採光が、庭 30 を介して建物 1 内に効率的に取り込まれる。

【0026】

この住宅 100 では、住人は、ポーチ 2 から引違戸 3A を開けて風除室 3 を通り、玄関

10

20

30

40

50

ドア４Ａ，１４Ａを開けて玄関４，１４から建物１内に入る。このように、建物１の玄関ドア４Ａ，１４Ａより内部の空間を、住人のプライベートスペースとして利用することができる。また、ポーチ２と庭３０とを連通する風除室３を通り、サッシＳ１を開けて庭３０に入ることができる。よって、風除室３をパブリックスペースとして利用することで、庭３０を近隣とのコミュニケーションの場として活用することができる。

【００２７】

このように構成された住宅１００では、建物１における玄関ドア４Ａ，１４Ａより内部の空間を、住人のプライベートスペースとして利用できる。ポーチ２と風除室３との間には引違戸３Ａが設けられ、風除室３と庭３０との間にはサッシＳ１が設けられている。よって、外部から庭３０にアクセスする際には、引違戸３Ａを開けて、風除室３を通過し、サッシＳ１を開けてアクセスでき、土足のまま庭３０で近隣とコミュニケーションをとることができる。また、プライベートスペースを通過せずに庭３０にアクセスできるため、庭３０を近隣とのコミュニケーションの場として利用する際に、住人のプライバシーを確保することができる。

10

また、引違戸３Ａよりも内部に配置された風除室３には、自転車やベビーカー等を置くことができるため、盗難等の被害にあいにくい。また、これらの物が外部から目立たないため、景観を良好とすることができる。

【００２８】

また、玄関ドア４Ａ，１４Ａが庭３０よりもポーチ２側に配置されていて、外部から玄関４，１４への住人の動線を短くすることができるため、玄関４，１４へのアクセスがしやすい。

20

【００２９】

また、建物１は庭３０の四方を囲むように配置されていて、庭３０には外部と直接面する部分がないため、建物１の庭３０に面した部分のプライバシーを一層高めることができる。

【００３０】

また、風除室３に面した玄関ドア４Ａ，１４Ａは内開きであると、万が一不審者が侵入して玄関ドア４Ａ，１４Ａを開けようとする際には、住人は玄関ドア４Ａ，１４Ａを押して閉じようとして対抗する。押す方は引く力よりも大きな力を発揮しやすいため、玄関ドア４Ａ，１４Ａは内開きとすることは防犯上好ましい。

30

また、玄関ドア４Ａ，１４Ａが内開き又は引き戸であると、風除室３側に玄関ドア４Ａ，１４Ａが開かないため、風除室３における利用することができる空間を大きく確保することができる。

【００３１】

また、各世帯の玄関４，１４が風除室３に面しているため、風除室３及び風除室３に面した庭３０を各世帯同士で共通で利用でき、世帯間のコミュニケーションの場として利用することができる。

【００３２】

また、玄関４，１４を２箇所設けても、屋外用の建具は引違戸３Ａのみであるため、屋内用の建具よりも高価な屋外用の建具の数を最小限に抑えることができるため、建具のコストを抑えることができる。

40

【００３３】

また、引違戸３Ａには外部から風除室３への通風可能な開口が設けられているため、外部からの風が風除室３、風除室３に面した庭３０及び建物１の庭３０に面した部分に導入される。よって、建物１内へ外気を導入しやすく、通気性を高めることができる。

【００３４】

(第二実施形態)

次に、本発明の第二実施形態に係る建物について、主に図３及び図４を用いて説明する。

なお、以下の実施形態、変形例において、前述した実施形態で用いた部材と同一の部材

50

には同一の符号を付して、その説明を省略する。

【 0 0 3 5 】

図 3 は、本発明の第二実施形態に係る住宅の一階平面図である。図 4 は、本発明の第二実施形態に係る住宅の二階平面図である。

第一実施形態では建物 1 は庭 3 0 の四方を囲むように平面視口の字状に配置されているが、本実施形態では建物 4 1 は庭 7 0 の三方を囲むように平面視口の字状に配置されている。

【 0 0 3 6 】

図 3 に示すように、住宅 1 0 1 は、道路 D 2 に面して建築されている。一階では、建物 4 1 の外部には設けられたポーチ 4 2 が設けられ、ポーチ 4 2 に面して風除室 4 3 が設けられている。ポーチ 4 2 と風除室 4 3 との間には、開閉可能な屋外用のドア（外側建具）4 3 A が設けられている。

【 0 0 3 7 】

建物 4 1 には、風除室 4 3 に面して、建物 4 1 の一方側及び一方側に対向する他方側（図 3 に示す紙面左側及び右側）には、それぞれ玄関 4 4 , 5 4 が設けられている。

【 0 0 3 8 】

風除室 4 3 と各玄関 4 4 , 5 4 との間には、開閉可能な玄関ドア（玄関建具）4 4 A , 5 4 A が設けられている。玄関ドア 4 4 A , 5 4 A は、屋内用のドアである。

【 0 0 3 9 】

一方の世帯用の建物部分では、玄関 4 4 に面して、玄関ホール 4 5 が設けられている。また、玄関ホール 4 5 に面して、リビング 4 6 A、ダイニング 4 6 B 及びキッチン 4 6 C が並んだ L・D・K 4 6 が設けられている。キッチン 4 6 C の奥側（ダイニング 4 6 B と反対側）には、廊下 4 7 が設けられている。廊下 4 7 に面して、トイレ 4 8、洗面室 4 9、納戸 5 0 及び寝室 5 1 が設けられている。洗面室 4 9 に隣接して、浴室 5 2 が設けられている。

【 0 0 4 0 】

他方の世帯用の建物部分では、玄関 5 4 に面して、玄関ホール 5 5 が設けられている。また、玄関ホール 5 5 に面して、階段 5 6 が設けられている。

【 0 0 4 1 】

図 4 に示すように、二階では、階段 5 6 の降り口に面して、リビング 5 7 A、ダイニング 5 7 B 及びキッチン 5 7 C が並んだ L・D・K 5 7 が設けられている。L・D・K 5 7 には、廊下 5 8 が設けられている。廊下 5 8 に面して、洋室 5 9、洋室 6 0、トイレ 6 1、洗面室 6 2 及び主寝室 6 3 が設けられている。洗面室 6 2 に隣接して、浴室 6 4 が設けられている。

【 0 0 4 2 】

この住宅 1 0 1 において、一階では、風除室 4 3、玄関ホール 4 5、L・D・K 4 6、廊下 4 7、寝室 5 1 及び玄関 5 4 に囲まれるようにして、庭 7 0 が設けられている。

【 0 0 4 3 】

風除室 4 3 と庭 7 0 との間の壁 W 1 1 には、開閉可能且つ人の出入りが可能なドア（内側建具）S 1 1 が設けられている。また、玄関ホール 4 5 と庭 7 0 との間の壁 W 1 2 には、サッシ S 1 2 が設けられている。また、L・D・K 4 6 と庭 7 0 との間の壁 W 1 3 には、サッシ S 1 3 が設けられている。また、寝室 5 1 と庭 7 0 との間の壁 W 1 4 には、サッシ S 1 4 が設けられている。

【 0 0 4 4 】

このような住宅 1 0 1 は、庭 7 0 の建物 4 1 に囲まれていない側 7 0 B に隣地が近接するように建築されることが多く、建物 4 1 に囲まれていない側 7 0 B から庭 7 0 にアクセスできないことがある。この場合でも、外部から庭 7 0 にアクセスする際には、ドア 4 3 A を開けて風除室 4 3 を通過してドア S 1 1 を開けてアクセスでき、土足のまま庭 7 0 で近隣とコミュニケーションをとることができる。また、プライベートスペースを通過せずに庭 7 0 にアクセスできるため、庭 7 0 を近隣とのコミュニケーションの場として利用す

10

20

30

40

50

る際に、住人のプライバシーを確保することができる。

【0045】

なお、上述した実施の形態において示した各構成部材の諸形状や組み合わせ等は一例であって、本発明の主旨から逸脱しない範囲において設計要求等に基づき種々変更可能である。

【0046】

例えば、上記に示す実施形態の住宅では、建物が庭の四方または三方を囲むように配置されているが、本発明はこれに限られない。建物が庭の二方向に沿って配置された住宅や、建物が庭の一方向に沿って配置された住宅であってもよい。

【0047】

また、上記に示す実施形態では、建物に玄関が2個設けられた二世帯住宅を例に挙げて説明したが本発明はこれに限られず、玄関が1個のみ設けられた単世帯住宅であってもよいし、玄関が3個以上設けられていてもよい。

【符号の説明】

【0048】

100, 101 ... 住宅
1, 41 ... 建物（建築物）
2 ... ポーチ
3, 43 ... 風除室
3A ... 引違戸（外側建具）
3F ... 床
3W ... 壁
4, 14 ... 玄関
4A, 14A ... 玄関ドア（玄関建具）
30, 70 ... 庭
43A ... ドア（外側建具）
S1 ... サッシ（内側建具）
S11 ... ドア（内側建具）

10

20

【 図 2 】

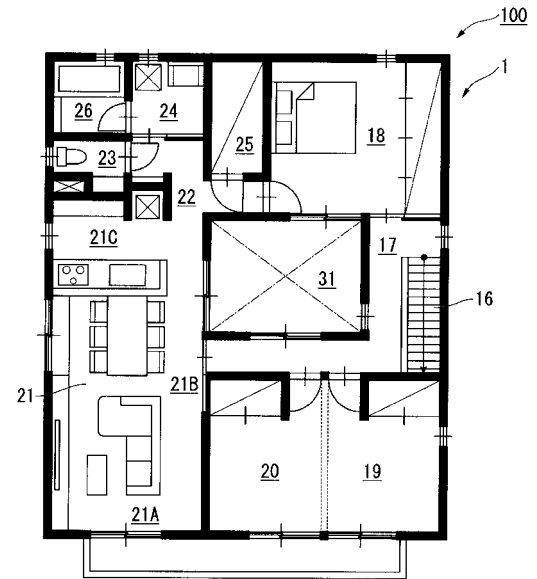


图 2

【 図 4 】

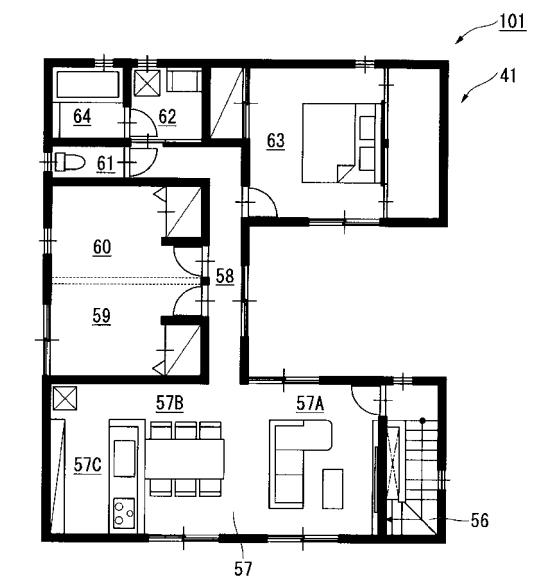


图4